**事業計画書作成における注意事項（事業計画書様式）**

●　事業計画書の項目（黒文字）は削除・追加しないでください。

●　事業計画書に図表等を貼付することは可能ですが、印刷した際に見易い図表

をご使用ください。

●　提出時に、本ページを含め、青文字で記載してある説明文はすべて削除して

ください。

**（提出にあたって、本ページは削除してください）**

(別紙２)

事業計画書

１　申請者の事業について

（１）事業の概要

※以下を踏まえて事業の概要を記載

・【Why me】事業に取り組む動機や背景は何か

・【Vision】事業を通じてどのような世界を実現したいのか

・【Problem】現在は誰にどのような課題が存在するのか

・【Solution】どのようにしてその課題を解決したいのか

・【Product】提案する製品・サービスの内容は何で、新規性や独自性はどこにあるのか

（２）市場考察

　　※下記観点を踏まえて、参入する市場とその動向について記載

・市場規模(TAM/SAM/SOM)

・今後の市場の成長見通し

・競合他社の状況(既に展開している他社の製品・サービスと市場シェア)

（３）市場での優位性

　　※事業化した場合の製品・サービスの優位性について比較対象を明示して記載

（４）これまでの取組み内容

　　※これまで行ってきた開発や実証実験の内容と、それに対する市場からの反応、把握した課題、それらを踏まえて今回検証したい仮説を記載

（５）収益モデル

　　※どのような仕組みで収益を得るのか、具体的な収益モデルを記載（ステークホルダーの受益や負担、お金の出入りを分かりやすく表現）

（６）事業化までの具体的な計画

　　※本事業において想定される成果を踏まえ、収益化までの具体的な売上計画（生産計画、販売計画等）とその算出根拠(計算の前提となる単価情報)、売上計画を達成するのに必要な資金をいつどのように調達するのかを記載

（７）北九州市への貢献

　　※事業化により貴社が本市にもたらすメリットについて、市内への効果（市内における雇用創出等）やＳＤＧｓへの貢献等の観点を踏まえ記載

２　実証実験の内容について

（１）本実証実験において取り組む課題

　　※選択したテーマについて、取り組むべき課題を定義し、その課題をどのように解決するのかを記載

（２）本実証実験の目的

※本実証実験がどのような意義を持ち、事業成長に寄与するのか等について記載

（３）本実証実験の内容

　　※実証実験の具体の内容と予定している具体的な方法（実証フィールド、対象者、実施フロー等）を記載

（４）成果指標

　　※どのように実証実験の結果を評価すべきか、現在考えている成果指標をできるだけ具体的、定量的に記載

（５）実施スケジュール

　　※実証の計画を線表などを用いてできるだけ具体的に（５Ｗ１Ｈを明記して）記載

（６）北九州市に期待する支援内容

　　※北九州市からの支援が必要な場合、その具体的に必要な支援内容を、以下の２つに区分して記載

①実証実験にあたって必要不可欠な内容

②その他期待する内容

３　他の補助金等への申請状況について

　　※国・県・市及びこれらの関係団体が実施する補助制度等に、本事業と同一の事業で応募している場合は、その制度名称及び実施機関を記載